

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	2342
部名	総務部	課名	行政システム課	課長名	野村謙一	
事務事業名	職員提案奨励事業					
予算上の事務事業名	職員提案奨励費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		16310			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します					
基本施策名	第3節 文化的視点に立った行政の推進				事業開始年度	
施策名	第1施策 文化的視点に立った行政の推進				昭和63年以前  ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市事務改善報告職員提案規定、事務改善報告及び職員提案実施要領					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分	▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)					
市政に関する政策立案及び事務改善について、広く職員から改善及び提案を募集することにより、職員の市民サービスの向上、政策形成能力の向上及び事務能率の向上を図る。				市全職員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
事業費 397,000円 ・提案件数 : 333件 ・提出した係・班 : 153係・班 ・ほう賞 : 44件 [市長賞(1)、金賞(1)、銀賞(3)、銅賞(6)、努力賞(8)、奨励賞(24)、最多提案賞(1)]						
6 関連・類似事業や他市の状況	近隣の市においても実施しており、職員の事務効率、市民サービス及び政策形成能力の向上に貢献している。実施している市:大和市、厚木市、横浜市等					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	541	397	397	397	397	
一般財源	541	397	397	397	397	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	2,098	2,003	2,018	2,018	2,018	
事業コスト合計(a)	2,639	2,400	2,415	2,415	2,415	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	職員提案奨励事業			対象名称(単位)	参加市職員(人)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	2,639	2,400	2,415	2,415	2,415	
対象数	4,096	4,060	3,995	3,945	3,910	
単位あたり経費(円)	644	591	604	612	618	
前年度比		0.92	1.02	1.01	1.01	
9 活動指標・・・実施した内容(活動)の数値化						

指標名 (単位)	改善報告及び提案件数	指標式と指標の説明	各課からの改善報告及び提案件数 職員の行政事務への関心度を図る判断基準とした。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	562.0	300.0	333.0		
目標	756.0	353.0	353.0	354.0	354.0
目標達成度	0.74	0.85	0.94		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	実施率	指標式と指標の説明	実施済件数/入賞件数×100 入賞件数における実施済件数の割合を示す。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	76.9	88.5	81.4		
目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度	96.2	110.6	101.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	良好な状態を維持する事業			
	[ ]	概ね良好な状況である事業			
	[ ]	見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		制度は、職員の意識向上、効率的で効果的な都市経営の推進に繋がる仕組みとして、必要性が高い。全庁的な活動として、実効性の高い仕組みとなるよう検討を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
改善等推進員を中心とした小集団活動での改善及び提案を促すため、民間機関の外部講師による研修会を実施して、活性化を図る。			制度の改正により、改善報告が増加してアイデアを募集する提案が減少した。組織や個人に偏りがあるため、多くの職場から改善及び提案がしやすい仕組みづくりを検討する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			